

年 月	出来事
昭和35年（1960） 7月	上水道事業創設調査委員会発足
昭和37年（1962） 4月	上水道事業基本計画樹立
昭和37年（1962） 12月	上水道創設事業認可 （計画給水人口 50,000人、一日最大配水量 12,500立方メートル、計画事業費 455,000千円）
昭和39年（1964） 11月	松葉町地内通水開始
昭和39年（1964） 11月	上水道料金表設定
昭和41年（1966） 6月	高本山配水池完成（PC造、容量：1,800立方メートル× 2 池）
昭和41年（1966） 7月	送配水管水管橋（稲荷橋）架設工事完成（121メートル）
昭和41年（1966） 12月	東松山橋へ配水管添架工事完成（282メートル）
昭和43年（1968） 3月	第一浄水場完成
昭和44年（1969） 7月	水道料金改定（ 1 回目）
昭和45年（1970） 3月	第 1 期拡張事業計画認可 （計画給水人口 72,000人、一日最大配水量 35,500立方メートル、計画事業費 700,000千円）
昭和46年（1971） 3月	上橋配水管橋梁添架工事完成（84メートル）
昭和47年（1972） 3月	浅井戸（第二水源）設備完成（取水能力：7,700立方メートル/日）
昭和47年（1972） 4月	滑川村（現：滑川町）分水開始
昭和48年（1973） 3月	水道庁舎（現：第二浄水場）完成（RC造 3 階建 配水池容量：4,000立方メートル×2池）
昭和48年（1973） 9月	唐子橋配水管添架工事完成（324.5メートル）
昭和50年（1975） 4月	水道料金改定（ 2 回目）
昭和52年（1977） 4月	水道料金改定（ 3 回目）
昭和53年（1978） 1月	第 2 期拡張事業計画認可 （計画給水人口 67,900人、一日最大配水量 42,100立方メートル、計画事業費 3,300,000千円）
昭和53年（1978） 8月	鳩山村（現：鳩山町）への分水開始
昭和54年（1979） 12月	大岡配水場（現：腰塚配水場）完成（PC造、容量：2,000立方メートル） 水源：市水（唐子浄水場・浅井戸より取水、高本山配水場より分水）
昭和55年（1980） 3月	五領調整場完成（緊急貯水槽容量370立方メートル）
昭和55年（1980） 7月	浅井戸（第三水源）完成（取水能力：4,630立方メートル/日）
昭和55年（1980） 10月	高坂高区配水場完成（PC造、容量：2,700立方メートル） 水源：県水（高本山幹線より分水）
昭和56年（1981） 3月	第 3 期拡張事業計画認可 （計画給水人口 67,300人、一日最大配水量 34,000立方メートル、計画事業費 470,000千円）
昭和56年（1981） 6月	東松平橋（88.62メートル）、天神橋（96.41メートル）水管橋架設工事完成
昭和56年（1981） 7月	県水暫定受水開始（大久保浄水場より）、鳩山町への分水解消
昭和56年（1981） 8月	水道料金改定（ 4 回目）
昭和59年（1984） 3月	高坂丘陵配水場完成（PC造、容量：900立方メートル） 水源：県水（高坂高区配水場より分水）
昭和60年（1985） 1月	水道料金改定（ 5 回目）
昭和60年（1985） 3月	第 4 期拡張事業計画認可 （計画給水人口 93,900人、一日最大配水量 48,900立方メートル、計画事業費 1,250,000千円）
昭和62年（1987） 3月	高本山配水場県水受水池完成（PC造、容量：8,600立方メートル） 高本山配水場への県水受水開始
平成元年（1989） 3月	浅井戸（第一水源（旧：第四水源））完成（取水能力：3,900立方メートル/日）
平成元年（1989） 4月	水道料金改定（ 6 回目）※ 消費税法改定によるもの（3％）
平成 2年（1990） 3月	第二水源改造工事完成（水害対策として躯体嵩上げ：600ミリメートル）
平成 4年（1992） 4月	水道料金改定（ 7 回目）※ 消費税法改定によるもの（5％）
平成 5年（1993） 3月	第 5 期拡張事業計画認可 （計画給水人口 106,000人、一日最大配水量 61,500立方メートル、計画事業費 8,000,000千円）
平成10年（1998） 10月	水穴配水場完成（PC造、容量6,900立方メートル×2池、県水：行田浄水場系）
平成11年（1999） 3月	中橋水管橋架設工事完成（85.97メートル）
平成12年（2000） 3月	水穴配水場自家発電機設備設置（ガスタービン 250KVA ： 1 基）
平成12年（2000） 3月	市野川水管橋架設工事完成（77.46メートル）
平成13年（2001） 3月	第二浄水場自家発電設備設置（ガスタービン 500KVA ： 1 基） （第一・第二浄水場ディーゼル発電設備廃止）
平成14年（2002） 3月	高本山配水場送配水管耐震補強工事
平成14年（2002） 11月	第一浄水場受電盤等更新

年 月	出来事
平成15年（2003） 1月	五領調整場等電気計装設備更新
平成15年（2003） 3月	高本山配水管等布設工事（392メートル）
平成16年（2004） 2月	第二浄水場建屋耐震補強工事
平成16年（2004） 3月	水道料金改定（8回目）※ 消費税法改定による総額表示
平成17年（2005） 3月	稻荷橋水管橋（下唐子）送配水管架替工事（95.30メートル）
平成18年（2006） 3月	県道東松山・鴻巣線（松本町ほか）配水管布設替工事
平成19年（2007） 3月	国道407号バイパス（下押垂）新東松山橋配水管添架工事（SUS 口径350ミリメートル、248.5メートル ほか）
平成19年（2007） 3月	国道407号バイパス（高坂）配水管布設工事（DIP 口径350ミリメートル、855.9メートルほか）
平成19年（2007） 5月	高本山配水池屋根改修工事（配水池 2 池：アルミドーム架け替え）
平成19年（2007） 8月	腰塚配水場 機能停止
平成20年（2008） 3月	唐子橋（葛袋）配水管添架替工事(SUS 口径400ミリメートル、289.5メートル ほか)
平成20年（2008） 3月	市の川橋側道橋（市ノ川ほか）配水管添架工事（SUS 口径250ミリメートル、57.2メートル ほか）
平成21年（2009） 3月	高坂高区・高坂丘陵配水場直送給水用減圧弁設置
平成22年（2010） 3月	国道407号バイパス（正代ほか）配水管布設工事（DIP-NS 口径250ミリメートル、173.05メートル ほか）
平成23年（2011） 3月	東松山橋水管橋（高坂ほか）塗替工事
平成23年（2011） 3月	22年度 老朽管更新事業（5件）：1.3キロメートル
平成24年（2012） 2月	浄配水場中央監視設備等更新工事完成
平成24年（2012） 3月	23年度 老朽管更新事業（9件）：2.8キロメートル
平成25年（2013） 2月	高坂高区・高坂丘陵配水場緊急遮断弁更新
平成25年（2013） 3月	水道施設長期修繕・更新計画策定（平成27年度～令和16年度）
平成25年（2013） 3月	24年度 老朽管更新事業（12件）：2.3キロメートル
平成26年（2014） 3月	25年度 老朽管更新事業（11件）：4.8キロメートル
平成26年（2014） 4月	水道料金改定（9回目）※ 消費税法改定によるもの（8％）
平成27年（2015） 2月	高坂丘陵配水場電気設備更新
平成27年（2015） 3月	26年度 老朽管更新事業（12件）：7.1キロメートル
平成28年（2016） 3月	東松山市水道事業管路更新計画策定
平成28年（2016） 3月	第一浄水場送水ポンプ 1 号及び第一水源取水ポンプ更新
平成28年（2016） 3月	27年度 老朽管更新事業（14件）：6.2キロメートル
平成29年（2017） 3月	第一浄水場送水ポンプ 2 号及び第二・第三水源取水ポンプ更新
平成29年（2017） 3月	28年度 老朽管更新事業（12件）：8.5キロメートル
平成30年（2018） 3月	第一浄水場送水ポンプ 3 号・ 4 号更新
平成30年（2018） 3月	29年度 老朽管更新事業（16件）：5.6キロメートル
平成31年（2019） 3月	第一浄水場電気・計装設備更新
平成31年（2019） 3月	30年度 老朽管更新事業（18件）：5.5キロメートル
平成31年（2019） 4月	下水道事業と統合し「東松山市上下水道事業」へ機構改革
令和元年（2019）10月	水道料金改定（10回目）※ 消費税法改定によるもの（10％）
令和元年（2019）10月	台風19号被災（第一浄水場及び第二浄水場ほか）
令和元年（2019）12月	第二浄水場配水池及び第二水源復旧作業完了
令和 2年（2020） 3月	水道管路更新計画策定
令和 2年（2020） 3月	第二浄水場電気設備盤機器更新、配水場・調整場計装設備更新
令和 2年（2020） 3月	R1年度 老朽管更新事業（12件）：3.0キロメートル
令和 2年（2020）12月	第一浄水場復旧工事完了（総事業費： 130,680千円）
令和 3年（2021） 3月	R2年度 老朽管更新事業（11件）：2.9キロメートル
令和 3年（2021） 6月	上下水道庁舎新築工事完成（山崎町地内）
令和 4年（2022） 2月	第一浄水場浸水対策工事完成（堤防嵩上げ：734ミリメートル）
令和 4年（2022） 3月	第二浄水場・水穴配水場 自家用発電機燃料タンク増設 （第二浄水場：2.2キロリットル、水穴配水場：1.1キロリットル）
令和 4年（2022） 3月	R3年度 老朽管更新事業（9件）：2.1キロメートル
令和 4年（2022）10月	第二水源浸水対策工事完成（地上部躯体嵩上げ：761ミリメートル）
令和 5年（2023） 2月	第一浄水場水源水質監視装置導入
令和 5年（2023） 3月	R4年度 老朽管更新事業（4件）：2.3キロメートル
令和 6年（2024） 3月	R5年度 老朽管更新事業（8件）：0.9キロメートル